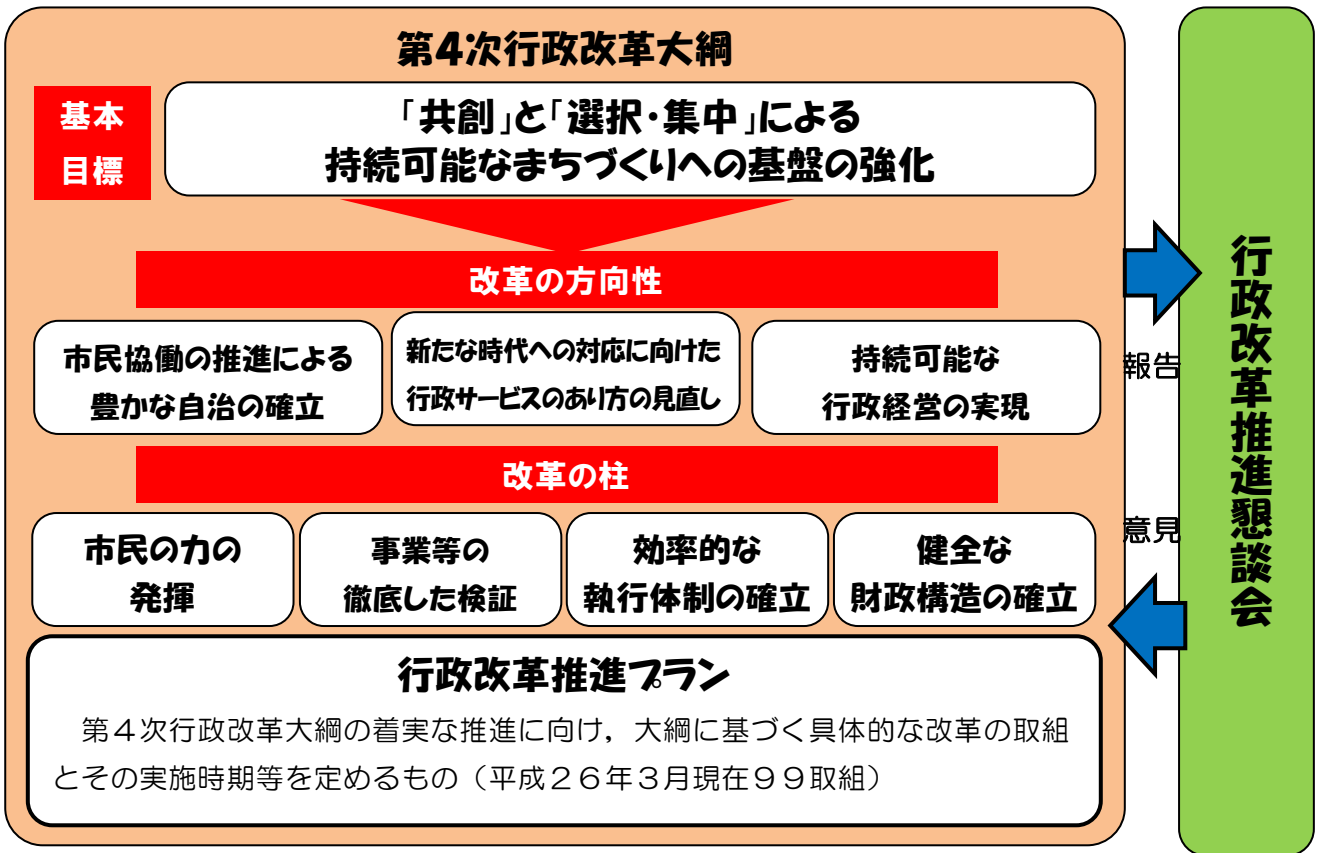


第 4 次行政改革の成果等について

1 第 4 次行政改革（平成 22～26 年度）の概要

- ・ 「第 5 次総合計画」の施策・事業を展開するための基本となる効果的・効率的な行政経営の推進に向けた行政改革の考え方・あり方を明らかにするため、平成 22 年 3 月に「第 4 次宇都宮市行政改革大綱」を策定
- ・ 『「共創」と「選択・集中」による持続可能なまちづくりへの基盤の強化』を基本目標とし、平成 22～26 年度までの 5 年間で「市民の力の発揮」や「事業等の徹底した検証」など 4 つの柱に基づく改革の取組を推進
- ・ 大綱に基づく具体的な改革の取組とその実施時期等を定める「行政改革推進プラン」（平成 26 年 3 月現在 99 取組）を策定し、取組を推進
- ・ 取組の進捗状況や成果等について、「宇都宮市行政改革推進懇談会」に報告するとともに、広報紙等を通じて広く市民に公表

【第 4 次行政改革大綱の体系】



## 2 行政改革推進プランの進捗（詳細は別紙1参照）

行政改革推進プランに計上する99取組について、経済環境の影響などにより進捗に遅れが生じた2取組を除き、「計画どおり」に進捗（下表参照）

### 【行政改革推進プランの進捗】

進捗状況		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度 (見込)
S	計画以上に 進んでいるもの	0取組 (0.0%)	0取組 (0.0%)	0取組 (0.0%)	0取組 (0.0%)	0取組 (0.0%)
A	計画どおり 進んでいるもの	75取組 (94.9%)	68取組 (81.9%)	70取組 (76.1%)	75取組 (75.8%)	67取組 (67.7%)
	実施済 実施済と したもの	4取組 (5.1%)	15取組 (18.1%)	21取組 (23.1%)	23取組 (23.2%)	30取組 (30.3%)
B	計画より 遅れているもの	0取組 (0.0%)	0取組 (0.0%)	0取組 (0.0%)	2取組※ (2.0%)	2取組※ (2.0%)
合計		79取組 (100.0%)	83取組 (100.0%)	91取組 (100.0%)	99取組 (100.0%)	99取組 (100.0%)
経費削減・収入増加 (百万円)		1,626	2,410	2,231	1,490	—

### ※ 計画より遅れている取組（2取組）

取組名	取組目標と進捗	理由等
No.45-① 上下水道局における 未利用地の売払い (企業総務課)	<b>【取組目標】</b> H26年度までに 休止20施設を売払い ----- <b>【進捗（H26年3月末）】</b> 8施設を売払い等により処分 6施設をH26年度売払い予定	建造物解体等が終了した施設から 売払いに取り組み、近隣住民への買受 勧奨なども行ってきたが、不整形地 などについては、市場性の低さから、 計画どおりに処分が進まなかったため
No.46-① ネーミングライツ制度 の導入・推進 (行政改革課)	<b>【取組目標】</b> H25年度 導入・推進 ----- <b>【進捗（H26年3月末）】</b> 検討中	自治体ネーミングライツ市場の 低調な状況が続いていることから、 市内企業へのアンケートの調査結果 を踏まえながら、企業の応募意欲を 高められるような対象施設や仕様等 を十分に検討する必要があるため

## 3 第4次行政改革の柱ごとの主な取組と課題

別紙2のとおり

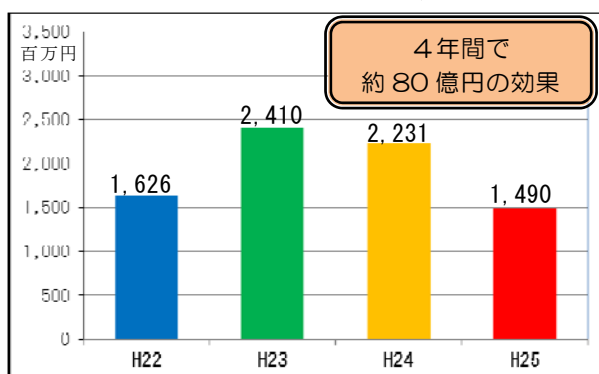
## 4 行政改革の取組に対する市民の意識等

別紙3のとおり

## 5 第4次行政改革の評価等

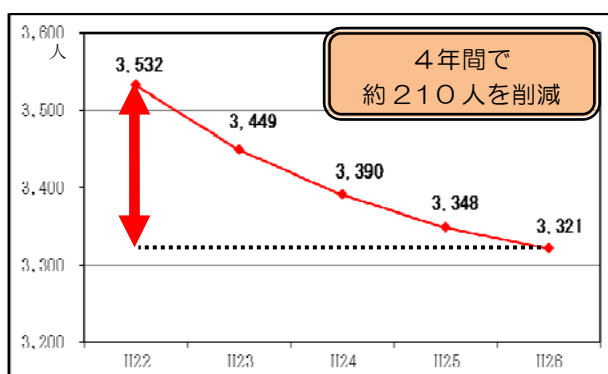
- ・ 市民の理解と信頼の深化に向けた市民サービスの向上を継続的に推進しながら、経費等の面においては、4年間で約80億円の財源を創出するとともに、約210人の職員を削減するなど、おおむね期待どおりの成果
- ・ 行政改革の取組により得られた成果を、「第5次総合計画」に掲げる10の戦略プロジェクトをはじめとする必要性やニーズの高い施策・事業に優先的・重点的に配分し、市民サービスの向上を推進
- ・ 「市民意識調査」においては、これまでの行政改革の取組に対する市民の「満足度」は向上しているものの、厳しい社会経済環境を背景に、行政改革の取組に対する「重要度」も増加しており、行政改革のより一層の推進に向けた期待も増大

【経費削減・収入増加の効果額の推移】



※H25の成果は、精査の結果、異動を生じる場合がある。

【職員数の変化(各年度当初)】



※H26年度の職員数には「フルタイム再任用」の職員を含む。

【第4次行政改革の取組期間における主な新規・拡充事業】

新規・拡充事業	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
◆保健・医療サービスの質を高める					
予防接種費用助成	→	ヒブワクチン等助成開始	→	高齢者肺炎球菌助成開始	→
◆高齢期の生活を充実する					
高齢者外出支援事業(バスカード等購入助成)	→	→	→	市窓口における交付開始	→
◆障がいのある人の生活を充実する					
重度心身障がい者医療費助成	→	現物給付開始	→	→	→
◆愛情豊かに子どもたちを育む					
私立保育園等の整備促進	拡充	→	→	→	→
◆日常生活の安心感を高める					
防犯灯設置等補助金	→	→	→	LEDに係る加算開始	→
◆危機への備え・対応力を高める					
防災行政無線(MCA無線)の配備による連絡体制の強化	→	配備拡充	→	全避難所への配備	→
◆円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する					
地域内交通の充実	拡充(4路線運行)	(6路線運行)	(8路線運行)	(11路線運行)	(12路線運行予定)

※「◆」は総合計画後期基本計画における基本施策名(25施策)

※地域内交通の運行路線には試験運行も含む。

## 6 社会経済環境の変化とそれにより見込まれる事象

### ○ 少子・高齢化の進行，人口減少社会の到来

⇒ 社会保障関係経費のさらなる増加や将来的な労働人口の減少に伴う市税の減少

⇒ 行政サービスの利用者数・属性やニーズの変化

### ○ ライフスタイルの多様化や，家族，地域の変容

⇒ 将来的な地域活力の変化

### ○ 公共施設の老朽化

⇒ 維持・修繕費の増大などの財政負担

⇒ より効率的な施設サービスの提供への要請

### ○ 地方分権改革の進展

⇒ 地方の役割や権限が拡大していることを踏まえた自主性・自立性の高い行政運営への要請

### ○ 行政改革の取組の進展等

⇒ 市民協働や外部委託の進展，多様な任用形態の活用などに伴う市職員の役割，業務の変質とその対応への要請

## 7 今後の行政改革の課題

- ・ 行政改革の取組により得られた成果を，必要性やニーズの高い施策・事業に優先的・重点的に配分し，市民サービスの向上を図ってきたことにより，各施策に対する「市民満足度」は向上しているものの，行政改革の取組に対する「市民満足度」は依然として低い水準  
⇒ 引き続き，「多様な担い手との協働」や「選択と集中の徹底」など，第4次行政改革の考え方，方向性をより一層発展・深化させていくことが必要
- ・ 「行政改革推進プラン」に掲げる99取組については，おおむね予定どおりに進んでおり，期待どおりの成果が得られているものの，人口減少社会の到来など，社会経済環境は大きく変化  
⇒ 今後は，行政サービスの効率化に加え，人口減少や少子・高齢化の進展に伴う行政サービスの需要や財政環境の変化，市自らの内部変化等に的確に対応した行政経営に転換していくことが必要
- ・ これらのことを踏まえた上で，新たな大綱の中で，具体的な課題の解決に向けた今後の行政改革の基本的な考え方や方向性を明確化

### 【具体的な課題】

- ・ 市民の理解と信頼の確保・向上に向けたわかりやすく効果的な情報発信
- ・ 市民主体のまちづくりのさらなる推進に向けた多様な主体が適切な役割分担・連携のもと課題解決に取り組む，市民参画のより一層の深化
- ・ 市民満足と効率性の向上の両立に向けた新たな分野や視点による民間活力の活用
- ・ 持続可能な財政構造の確立に向けたスクラップ・アンド・ビルドの徹底による資源配分の最適化や自主財源の確保，内部努力のさらなる徹底
- ・ 施設の効果的・効率的な利活用に向けた公共施設マネジメント
- ・ 信頼性と効率性の両立に向けた事務処理の適正化・効率化
- ・ 市民の納得性・信頼性を確保する効率的な執行体制の確立
- ・ 市役所の活力の維持・向上に向けた知識・技術の継承や職員的能力向上